

## 新たな「環境研究・環境技術開発の推進戦略について」の策定に向けた 論点と今後のスケジュール（案）

### 1．想定される論点

人類が直面する環境問題を解決するための環境技術の開発・普及を進めるとともに、基礎・基盤的分野としての環境研究の戦略的な充実を図るべく、統合的な環境分野の研究の振興や研究者の育成が不可欠である。現下の社会情勢、政策動向等も踏まえると、以下のような論点が想定される。

領域融合的な研究・技術開発の推進（低炭素・循環・自然共生の領域間でのトレードオフの解消やバランスのあり方についての研究・技術開発）

地域経済・資源の循環による地域振興・ライフスタイル変革等に向けた取組のあり方

地球温暖化対策における研究・技術開発の面からの貢献のあり方

東日本大震災後を契機とした災害による環境への影響の把握・軽減に向けた研究・技術開発のあり方

環境研究総合推進費を核とした切れ目のない研究開発支援制度のあり方

環境研究・技術開発の中核機関としての国立環境研究所の機能強化のあり方

### 2．今後のスケジュール

11月26日：中央環境審議会第78回総合政策部会

平成27年1月～同年6月頃：総合政策部会の下での環境研究・技術開発推進戦略専門委員会で審議

平成27年6月頃：答申取りまとめ（平成28年度以降の環境研究・技術開発関係予算に活用）